

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年10月29日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 2 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	3号機	中央制御室において、「燃料プール冷却材浄化系 熱交換器出口導電率 高」警報が発生したため、熱交換器出口導電率記録計の指示を確認したところ、1. 350 $\mu\text{s}/\text{cm}$ (警報設定値)を示していた。手分析により熱交換器出口導電率と燃料プール冷却材浄化系ろ過脱塩装置(A)出口導電率の確認した結果、ろ過脱塩装置(A)出口導電率は記録計と手分析の値が同じであるのに対して、熱交換器出口導電率記録計は手分析よりも0. 19 $\mu\text{s}/\text{cm}$ の高い値を示していたことが確認されたため、当該熱交換器出口導電率記録計を点検・修理。 なお、燃料プール冷却材浄化系の水質は手分析により悪化していないことを確認しており、水質管理は燃料プール冷却材浄化系ろ過脱塩装置の入口導電率と出口導電率により水質の状態を確認できることから、使用済燃料プールの水質管理に影響はない。	G III	5月19日
2	1・2号廃棄物処理設備	廃棄物処理建屋高電導度廃液系サンプポンプ(A)が停止しているにもかかわらず出口流量発信器(G11-FT135A)が17. 2m ³ /hを指示していたことから、当該計器を点検・修理。 なお、サンプポンプの運転・停止は、サンプの液位スイッチにより行っており、サンプポンプの運転・停止に影響はない。	G III	10月22日